

【荒尾地区で出た主な資源】



荒尾地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

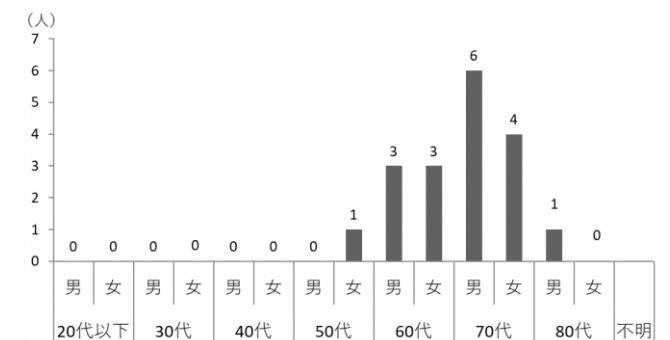
【荒尾地区】

日時：8月20日（火） 18時30分～

場所：東宮内公民館

参加者数：18名

【荒尾地区の参加状況】



【各グループで出たご意見の内容】

荒尾地区の困りごと

【なり手不足】

- ・役員のなり手がいない
- ・自治会行事の参加者が少ない、固定化している
- ・子ども会の参加が少ない、入らない人がいる
- ・新規参入者が自治会に入りづらい

【コミュニティ】

- ・地域コミュニケーションの形成手段がない
- ・班ごとのルール、交流がない
- ・若い人が参加しない
- ・地域の祭りがなくなって寂しい

【環境】

- ・イノシシが出没し、通学が危ない
- ・野犬がでる
- ・ゴミ収集場所がカラスに荒らされている
- ・駅からのアクセスが悪い

【空き家・空き地】

- ・空き地が活用されていない
- ・雑草や樹木が管理されていない
- ・空き地の雑草が多い

【その他】

- ・平井精密付近のカーブミラーが見えない
- ・ゴルフ場と隣接する道の除草
- ・車がないと買い物が大変
- ・道徳意識が低い
- ・イベントのアイデアが悪い
- ・バスの路線、ダイヤが少なく高齢者が免許返納しにくい
- ・公共の乗り物が利用しにくい
- ・車のマナーが悪い
- ・葬儀屋の代金が高い
- ・店が減った
- ・荒尾二造の市立資料館がない
- ・沿岸道路の渋滞
- ・宮崎兄弟生家の表示がわかりにくい、孫文の表記がほしい
- ・海を開放してほしい（イベントに使いたい）

荒尾地区の自慢

【自然。花がいっぱい】

- ・グリーンアベニュー
- ・大イチョウ
- ・熊野神社のソテツ
- ・シュロの木
- ・自転車道路の桜の木

【歴史史跡】

- ・宮崎兄弟生家
- ・浄業寺の鎌倉時代の墓標
- ・熊野神社の子ども神楽
- ・二造資料館

【地域の連携】

- ・地域行事への参加が多い
- ・いきいきサロンが多数ある
- ・小中学生の参画が多い
- ・子どもサロン
- ・学校と地域の連携が多い
- ・もともと連携の素地がある
- ・自治会加入率が高い（東宮内は98%）
- ・中学生のボランティア活動
- ・公民館活動が盛ん

【地域イベント】

- ・音と光の祭典がある
- ・荒尾漁協のマジャク釣り大会
- ・どんどや

【施設】

- ・荒尾市民病院
- ・グリーンランドが近い
- ・潮湯
- ・シンボル階段
- ・屋形山展望台
- ・自転車道路がある
- ・飲食店が多い
- ・おかち山ウォーキングコース
- ・認証カフェあおば

【その他】

- ・災害が少ない
- ・海産物・農産物が多い
- ・広大な空き地が活用できる
- ・コイがいる
- ・ホテル
- ・防犯用外灯が充実

【荒尾地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】荒尾地区の課題と自慢

【荒尾地区の課題】

1. 安全でない

- ・空き家の増加、放置が多い（3）
- ・雑草増加の原因になっている
- ・捨て猫、捨て犬が多い（3）
- ・イノシシがでる（2）

2. 自治会への参加が少ない

- ・自治会役員のなり手が少ない（2）
- ・イベント参加者が少ない
- ・特に若者の参加が少ない

3. 地域資源が活用されていない

- ・宮崎兄弟生家の表示がわかりにくい
- ・空き地が活用されていない

その他

- ・バスのダイヤが少なく、免許返納支援もない
- ・燃えるゴミの収集場所が汚くなっている

【荒尾地区の自慢】

1. 誇れる資源がある

- ・宮崎兄弟生家がある（3）
- ・海（マジャク釣りなど）（2）

2. 地域活動が盛ん

- ・花いっぱい運動（グリーンアベニューや花の道プロジェクト）を頑張っている（3）
- ・音と光のプロジェクトなど地域活動が盛ん
- ・公民館活動が盛ん

3. 環境がいい

- ・外灯が充実
- ・飲食店が多い
- ・自転車道路がある

その他

- ・高齢化率26.1%（市内12位）